

第1回特別職報酬等審議会 議事録

日時：令和6年2月8日（木） 午前10時～午前11時35分

場所：西庁舎3階特別会議室

出席者：委員10名、事務局5名

- 1 委嘱状交付
- 2 市長諮問
- 3 市長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 会長選任
- 6 会長あいさつ
- 7 会長職務代理者選任
- 8 事務局説明
- 9 審議、意見交換

委員	市長、副市長及び教育長の特別職の期末手当を含めた年収を教えてください。
事務局	計算した後ほど説明する。
委員	年収の話があったが、県内の自治体それぞれの特別職、議員の年収比較を教えてください。あくまで月給とかだと比較しにくい部分があるので、年収比較を次回でも構わないので出していただけると、給料月額と年収的な比較という一つの視点として見えるかと思う。
委員	これまで特別職や議員の報酬等の見直しをしたいとか、してほしいという声はあったのか。平成17年から改定はないが、どんな状況だったのか。
事務局	一般職は、給与構造改革がこの間に2回行われ、2005年の構造改革では平均で5%の削減、2014年は2%の引下げがあった中で、特別職及び議員の報酬等は、一般職の給与水準との比較という点で、適切な金額かどうかという一つの指標にはなっていた。一般職の最高号給が約10%段階的に下がってきており、そういう状況での特別職の報酬等の見直しというのが、これまではあまりされてこなかったという背景がある。一方で昨今、議員のなり手不足や、物価高騰により賃金水準が上昇傾向にあることも踏まえて、市長からの諮問という

委員	<p>形になったと考えている。</p> <p>県内市や類似団体において、今までは特別職の報酬等も引下げがあったが、これからは多分引上げという議論になってくると思う。その中で、この類似団体や県内の市町村が、どんな動きになっているのか少し教えていただきたい。</p>
事務局	<p>直近だと袋井市が報酬等審議会を開催しており、引上げの見込みはないということで伺っている。また、伊豆市が本年度開催予定であるが、その他は報酬等審議会自体が、直近で開かれるということは伺ってないので、まだそれほど大きな引上げの動きがあるわけではない。もしかしたらこの春闘の動き次第で、急に動くところが出るかもしれない。</p>
委員	<p>今回議論する特別職の報酬等について、国の方から指導のようなものがあるのか。また、磐田市は規模のわりには副市長がずっと条例上1人だが、小さな人口規模のところでも2人体制のところがあるとすると、単純に副市長が2人いると、倍の給料が払われるということで、市民目線で言ったときに、市民1人当たりとしてどのくらい特別職に払っているのか、要は市民としてどのくらい負担しているのか、という点で磐田市としての方向性みたいなものがあれば、特別職の報酬等を上げるにしても下げるにしても説得力があると思う。</p>
事務局	<p>特別職の報酬等については、特に国からの指導というのではないので、市の判断で金額を決めていく形になる。副市長2人体制は増えてきているので、そのような資料についても、また用意をさせていただく。</p>
委員	<p>議員の収入の中に、例えばお便りを作成するための印刷機とかプリンターとか紙代とか、そういう必要経費は別に支給されているのか。この報酬の中で、全て賄っているのか。</p>
事務局	<p>政務活動費という活動に伴う経費が支給をされており、議員1人年間30万円の支給がされている。</p>
委員	<p>議員定数も含めて、実際に現職の議員の方々と、例えばこういう報酬に対して定期的に意見交換会のようなものはあったのか。問題は、市民の声や、実際になられた方の声で、どういう声が上がっているのかも非常に大事になるので、何か間接的に今まであったのか教えてほ</p>

事務局	<p>しい。</p> <p>議員には報酬という形で支給をしており、議員とは、報酬を引き上げるとか、少ないというような議論というか、情報をやりとりするような仕組みがない。報酬については、条例で定めることになるが、条例の改正を議員が議案を出して、自分たちでやるという方法もあるので、どこかに頼って、お願いをしてあげてもらおうというようなことではない。</p>
委員	<p>議員定数は、合併時が 34 人だったが、今は 26 人である。いろいろ協議もされた上でのことで、当然市民の声も入っていると思う。やみくもに減らせばいいという問題でもないし、これが妥当かどうかというのは注目していかないといけない。</p>
委員	<p>特別職と議員は全然立場が違うので、それを同じ中で議論すると大変になってしまう。議員は定数の問題もある。議員が職業という方は少ないのではないかと思うが、特別職は多分それを職業としている方がほとんどではないかと思う。今回、諮問、答申をする中で、一緒に議論をしていくとちょっと分かりにくくなってしまうので、こっちを先にやって次はこっちというような段取りがあれば教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>諮問として両方させていただいているので、答申としても両方していただきたい。答申内容が異なっても構わない。</p>
委員	<p>磐田市の現状として、議員の中で、職業としてやっている方はいないのか。</p>
事務局	<p>自営等の方やリタイアされている方が大半であると思うが、現時点で把握はしていない。一般的には他に何かをされている方が多いと認識している。</p>
委員	<p>議員は期末手当を含めて単純に計算すると年収は約 650 万円になる。また政務活動費を含めても約 700 万円程度であり、議員 1 本でやるとなると低いと感じる。ただ、他の委員が言われたように、他に仕事をやっていて、何百万という年収があるとすると、それは十分だなと思う。そう考えると難しいなと感じる。</p>
委員	<p>議員のなり手不足の一つの要因だと思う。</p>

事務局	先ほどの特別職と議員の年収についての質問の回答は、市長が約1,650万、副市長が約1,400万円、教育長が約1,220万円、議員が約680万円程度である。
委員	新規採用の一般職職員は、給与が上がってきていると思うが、一般職職員の過去10年ぐらいの給与はどうなっているのか気になっている。
事務局	一般職職員の平均給与は、合併以降ほぼ横ばいであり、平均年齢は、合併当初より4歳近く上がっているため、全体とすると下降している状況である。また、若手職員は、比較的給与が上がってきているので、職員の中でも、若手と高齢の役職者層との格差は縮まってきている。人事院勧告に準じて、本市も改定を行っているため、国全体、国家公務員も含めて、同様の傾向である。
委員	賃上げが世の流れみたいなどころはあるが、中小企業になると業績に係わらずせざるを得ないところがあると聞いている。また、個人でお店をやられている方もいて、そのような方と特別職等を直接比較するものではないとは分かるものの、大変厳しい状況におかれている方も、市民の中にはいるという認識を持った上での議論を今後していただけたらと思う。
委員	特別職の年収レベルの給与は他と比べてそんなに悪くないと思うが、議員のなり手がいないぐらいの魅力を感じられないぐらいの年収では、いかななものかと思う。磐田にはたくさんの個人企業があり、コロナが終息して、完全に2分化している状況で、個人で頑張っている工業のご商売の方はすごくご苦労されている方が結構いる。市政がしっかりしていると、商売も影響を受けて、やりやすくなるというのは事実である。私がかんばる企業応援団の事業で伝えているのは、従業員の教育をする手間がない、それから技術の継承をする人手と時間がないということ。お客様から仕事をいただくために、今の従業員には、そこに力をかけてもらわないといけないため、従業員の採用活動に力を貸してほしいこと等を市にお願いしている。入社してくれた従業員たちに、十分な教育と磐田の技術を売る会社で働くことに夢を持ってほしいというのがありますが、その夢を与えるだけの教育が出来ているかどうかというと、出来てないだろうと思う。そこでも力を貸してほしいということで、市役所の方たちにいつもお願いしている。そういう市がしっかり活動的になっていただくと、も

	<p>っと助かる企業は多いだろうなと実感している。先ほどの議員のなり手が無いというのはとても不安であり、それから、良い人材は年収だけではないけれども、やはり給与条件というのは良い人材を集めるにはとても大事だと思う。ものすごく熱心な方で議員になられた方々が揃っていただくと、磐田の市政もすごく盤石なものになっていくのではないかと思う。個人企業の経営者の意見で大変恐縮だが、市及び市政に頼りたいなと思う部分はすごく多い。</p>
<p>委員</p>	<p>i プラザにお見えになる方は本当に生活に困窮している方たちが多く、1万円のお金もどうにもならないというような方が市民にはたくさんいる。それと同時に、社会福祉協議会にも職員が40人ぐらいいるが、給料は、平成17年度合併のときからほとんど上がっていない。この時代で仕事が増える一方で、とても苦しい思いをしている。その中で思うのが、市民の相談にのってくださる方、力になってくれるのは、私は議員だと思っている。やはり市民の生活を近くで支えてくれる役割を議員に期待したいと思っている。そういう面から見ると、やはり、企業に勤めながら、両方でやってらっしゃる方が多いという意見があったが、私は少し残念だと思う。やはり本腰を入れて、市を考えてくださる方が出てくるような体制を整えることが、市民のためではないかと思う。議員については、もう少し活動が広がる、そういう金銭的なゆとりを持つような議員であってほしいと思うので、報酬については、ご配慮いただきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれの立場を皆さん背負って出席いただいているので、限られた時間ではあるが、ご意見をいただいて、次回臨みたいと思う。いずれにしても、厳しい業界もあるし、物価高で市民の負担も大きくなっている。市民目線で見ると、やはり最終的には市民の理解が得られないといけないと考える。そういったことも踏まえて広く視野を広げてご検討、ご協議いただければと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>世の中を見ると政治と金の問題が出ていると思うが、単純に議員の報酬を上げると言ったときには、本当に明確な根拠がないと難しいだろうなと思う。それが市民感覚であって、市民の皆さんは本当に苦労されている方がいて、そういう中において、議員の給料を上げるとなったら、それはそれなりのしっかりした根拠を示さないと、市民の皆さんの納得は得られないと思う。特に今、時期が非常に悪いときなので、それを考えながら、色々な意見を出してやっていかないと、非常に難しい時だなと感じる。</p>

委員	私も議員の報酬について、なかなか難しいと思うがいわゆる成果、どう図るかという話にはなるが、一生懸命やってくれた議員は、しっかりみんなが認めて、報酬を上げてやるべきだと思う。他のこともやっけていて最低限の仕事をやっている人もいると思うので、そこでの差をつけられるようなものがないと、なり手のことも含めて、特に若い人には難しいなと思う。理想はそういうふうに持っていったほうがいいのかと思う。
委員	この辺りで言うと、磐田、袋井、森町、掛川とあるが、その中でも磐田市は議員報酬が高く、森町は低くて確か20万円台だと思う。そういうのを見ていると磐田はまだいいなと思う。実際、自分は企業に勤めているが、50歳代、60歳代ぐらいの議員の給料がこれくらいとなると、普通に会社に勤めている立場からすると少ないと感じる。ただ、ほとんどの方は中小企業なので、そういう目線で見ると、この金額をもらえるというのはかなりいいなというところもある。また、議員はあんな仕事であれだけもらえるのか、と実際聞くし、活発にやられている人はもっと上げてもいいのではないかという声も聞く。どっちが正しいのかは分からないが、議員1本でやられている方はかなり苦しいというのを聞き、そういう目線で考えると、しっかり地域の仕事をやられている方にはもう少し上げてもいいのかなと個人的には思う。議員になりたいという方が1番先に目にするのは、生活がかかっているのか、お給料だと思う。特に若手の30代の人に出てほしいが、若い方に聞くと、その給料じゃ魅力がないという話になる。そういうのを聞いていると、もう少し上げたほうがいいのか、それからもっと差をつけるのも一つの手じゃないかと思う。
委員	あわせて議員定数の問題も当然絡んでくると思う。今の状況の中でいいかどうかという妥当性もある。
委員	ただ、報酬が多すぎると、選挙のときにそれを狙って立候補する人もいるので難しい。
委員	議員は何をしているか分からないと市民の声として聞く。一生懸命やっているとは思いますが、活動が分からないので、今度は議員たちに、自分達がどんなことをしているかをしっかり市民に話しかけて解決できる、そういう議員の研修をしてほしい。自分たちはどうしたいということをしっかり議員としての使命を持って、それを市民に伝えながら活動してほしいと思う。それが給料に繋がると考えたい。

委員	<p>商売をしている側も市政がしっかりしてもらえると、絶対やりやすくなる。苦勞されている中小企業、零細企業がものすごく多いので、市政がしっかりしてくれることが何よりなので期待をしている。せっかくこの審議会を開催しているので、議員の収入において考えられる問題点について、解決の方向にいかれたらと思う。</p>
委員	<p>行政と議会というのは非常に難しい関係だと思うので、特別職の給料と議員の報酬を一緒に議論するのは自分としては難し過ぎるなどと思う。また、議員の生活面と仕事面で考えると違うので、生活面での支えという部分では、客観的に上げたりとかは必要かと思うが、一方、地元で身近に見ている人たちの中では、同一賃金同一労働というところでの差異が結構激しいというのも実態としてあると思う。議員総数の報酬の総枠に対して、議員報酬の差異をつけることができるのか分からないが、年間の議会日数の出席日数や、質問の数等である程度見ていかないと、先ほど言われたように、市民の方々、市民目線からすると必要かと思う。あとは議会の議員のなり手の問題と自治会の運営の構造が重なるところがあると思う。</p>
委員	<p>議員報酬の話が多かったが、議員は専業で専念できるようでないとな力が発揮されない仕事かと思う。やはり4年に1度選挙があるので、その中で市民にどれだけ伝え、どれだけ市民が理解するか、関わる人がもっと増えなければ駄目かと思う。その中で、地場産業は本当に良いところばかりではない、個人経営もあるといった意見は、自分が出さないといけないと思う。例えば、会員に話を聞いてみたいとも思う。</p>
委員	<p>市議会議員は地域や関連組織から選出され、得票数というものに反映されてくるのかなと考えているが、その中でこの金額が妥当かどうかは難しいと思っている。議員の仕事だけで生活ができることがいいと思うので、この金額がいいのかどうなのかは判断がつきにくいところだが、これは市民みんなが考えるべき話かなと思う。私は農業界にいたので、農業の今の実態を伝えると、高齢化が進んで、なかなか担い手が減ってきてしまっている状況である。それに加えて、新たに若い方々が農業をやっていただけるかというとな難しく、何で難しいかというとなやはりなかなか稼げない。今、農業界はかなり厳しい状況にあるわけだが、そういったことも踏まえると、議員報酬もいろんな格差がある中で難しい判断なのかなと思っている。</p>
委員	<p>私が以前湖西市に勤務していた頃に議員から伺ったのは、ほぼ全員</p>

	<p>が副業で、磐田市より報酬額が低いので、議員単独ではとても生活ができない。また、4年に1度の選挙で選挙費用がかなりかかるので、当然生活は出来ない。皆さんおっしゃっていたように、議員単独の報酬で生活ができるのがベストだと思うが、それぞれの市町村で、財政上どこまで許されるのかというのはあると思う。また、議員報酬をある程度見直しをして、上げるということであれば、例えばパターンをいくつかつくって、財政にどう影響するのか、また、議員定数でいえば、現在の26名から変更した場合のパターンを示して、皆さんからご意見を聞きながら、ターゲットを決めて、そのあと説明をどういう形でつけていくのかにした方が、多分議論はしやすいのではないかなと思う。</p>
委員	<p>皆さん、貴重なご意見ありがとうございました。事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>活発なご審議をいただきましてありがとうございます。今回、多くのご意見をいただいたので、それらを踏まえて次回資料をご提示したいと思う。</p>
委員	<p>私も自治会連合会の立場にいて、非常に自治会運営が厳しくなってきた。高齢化、人口減少もあり、運営に支障が出てきている状況もある。我々も大きな課題をもって、今その中でやっている。今回、議員報酬が中心となったところもあったが、今回諮問を受けているのは、議会議員、市長、副市長、教育長の三役の給料についてなので、率直な意見を交わす中で、やはり最後には市民に理解を得られないといけない。そういう立場に立ってまたご意見をいただきたいと思う。今日、皆さんから現在の状況等を踏まえながらご検討いただいたが、今日まとめるということではなくて、次回、協議を再開させていただきたいと思う。</p>